

テクノスクールの現状等について

1 テクノスクールの役割について

テクノスクールの役割は、基幹産業として人材育成が必要とされる分野の職業訓練を重点的に担い、地場産業の振興に資することであり、学校教育をはじめ国や民間訓練機関が実施する職業訓練との役割分担を常に考慮していく必要があります。

2 テクノスクールの現状について

訓練コースとして、
中央テクノスクール：理容科，美容科，金属技術科，木工技術科，機械技術科，電気環境システム科
南部テクノスクール：自動車整備科，塗装技術科
西部テクノスクール：ボデーリペア科，電気工事科，住宅建築科，設備施工科
以上の12科を設けています。

その他，テクノスクールが提案する「提案型」や業界団体からの要望に応える「オーダーメイド型」の「在職者訓練」を実施しているほか，国で策定する職業訓練実施計画に基づき，離職者に対する公共職業訓練である「委託訓練」も実施するとともに，産業人材育成の重要性やものづくりの大切さについて情報発信を行い，魅力発信にも取り組んでいるところです。

※ 参考 テクノスクール2020
 施設内訓練入校・修了・就職状況
 在職者訓練，委託訓練状況等

3 機能強化の必要性について

平成25年4月からの3校体制による産業人材の育成から，5年余の期間が経過し，経済社会情勢が変化するなかで，特に，少子高齢化による人材不足や急激な技術革新に対応可能な人材の育成が急務となっているところです。

産業界においても，これらに対応可能な人材育成が求められていることから，テクノスクールにおける機能強化が必要となっているところです。

【参考】 過去の改編について

昭和58年2月に、県知事から職業訓練審議会(現在の職業能力開発審議会)に対して「職業訓練校の改善の方向について、統合して充実強化を図るための具体的な内容、手順等についての改善策」の諮問がなされ、昭和61年3月に職業能力開発審議会から知事に対して、長期展望に立って段階的に充実整備を図ることとし、県立職業訓練校の改善のモデルとして中央、南部、西部の3校体制とする案を示した「職業訓練校の改善の方向について」の答申がなされた。

答申を踏まえ、平成8年4月に阿南テクノスクール(現南部テクノスクール)、平成9年4月に西部テクノスクールを順次開校してきたところ。

平成15年7月には、県知事から「県立テクノスクールの充実強化について」の諮問がなされ、平成17年3月に訓練科の改編と中央テクノスクール立地場所について3候補地を提示する答申がなされている。

平成17年7月には、「県立テクノスクールにおける訓練科改編による訓練科目の設定について」の諮問がなされ、残された徳島、鳴門テクノスクールの統合に伴う訓練科改編に際し、阿南、西部の各テクノスクールの開校から相当の期間が経過していることから、両校の設備などの有効活用を図りながら訓練科目の設定を行うこととする答申が平成18年3月になされている。

その後、平成25年4月の中央テクノスクールの開校により、南部テクノスクール(旧阿南テクノスクール)、西部テクノスクールの3校体制となり、企業ニーズに応じた産業人材の育成に取り組んでいる。